

基（もと）の精神で

校長 松本 修身

私は、4月の始業式、入学式で生徒の皆さんにお願いをしました。それは、

- ・「愛校心」をもってほしい
- ・甲高を「好き」、できれば「大好き」になってほしい
- ・ただ、与えられるのを待っているのではなく、自らが得る努力をしてほしい

というものでした。

そのための具体的な方法として

- ・まず、勉強をしっかりとしよう
- ・さらには、学校行事、部活等をとおして自らが一步を踏み出そう
- ・そして、何よりも絆を結び、深めてほしい

を挙げ、私の思いを伝えました。

今年度、本校は、全学年において少人数のクラス編成を実施しています。具体的には、特色選抜である教育総合類型については30名で1クラスの編成とし、複数志願選抜における入学者170名については5クラスの編成としました。したがって、1学年については、30名の1クラスと34名の5クラスで編成され、2～3年については、進路に関する類型を考慮してクラスを編成するため、30～38名の6クラスの少人数制になっています。

また、去る5月13日には、今回が3回目の開催となる西宮南高校との運動部定期戦を実施しました。全12種目にわたり、生徒たちは熱い戦い、熱心な応援を繰り広げました。在校生が応援する中での試合は、どれも見応え十分で圧倒的な迫力のもと、本当に感動的でした。この定期戦が、生徒たちに愛校心を育む重要な学校行事のひとつであることを、今更ながら実感しています。今後も、両校の連携をさらに密にして、この定期戦を継続・発展させていきます。

このような中で、甲高生一人ひとりが、本校の校訓である基の精神「己を究め、ふれあいのなかに、明日を拓く」を胸に刻み、「自分の夢を諦めない人」として成長し、将来活躍することを期待しつつ、今、我々にできる得る限りのことを行う所存です。

これからも新たな取り組みにチャレンジする西宮甲山高校は、保護者の皆さん・地域の方々・卒業生をいつでも待っています。今後とも変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。